

令和4年度 香川県高等学校新人バスケットボール大会
開催にあたっての安全対策ガイドライン

香川県高等学校体育連盟バスケットボール専門部

1. 観戦について

- (1) 人数を制限し関係者のみ観戦を認める。

※1/9(月)、1/21(土) は、監督・選手・役員等関係者以外に各チーム学校関係者(管理職)、控え選手、保護者(家族)に限り 15名以内、1/14(土)、1/15(日)は、30名以内とする。

※写真屋、報道関係者は別に入場を認める。

2. 入場について

- (1) 体育館に入場するすべての人は、健康チェックシートの提出を行い、マスクの着用、手指消毒の徹底、声を出しての応援の禁止を条件とする。

※選手、保護者、学校関係者は各校顧問へ、役員、報道関係者は本部へ提出すること。

※当日 37.5℃以上の発熱があれば入場できない。

※健康チェックで安全が認められない場合は入場できない。

※陽性者、濃厚接触者と認定され自宅待機等になっている人は入場できない。

- (2) 選手入場時間は、試合開始1時間 30 分前からとし、速やかに更衣を行い指示された場所で待機すること。試合後は速やかに退場すること。

※高校会場、ツインパルながおの待機場所は、体育館外とする。

- (3) チーム応援で入場する人は、前の試合終了後、前のチーム応援団が退場した後、入場し、試合後は速やかに退場すること。

- (4) オフィシャル等補助員として係があたっている選手については、体育館内で待機しても良いこととする。

3. 大会参加について

- (1) 以下の場合は大会に参加することができない。

・当日 37.5℃以上の発熱がある。

・健康チェックで安全が認められない。

・陽性者、濃厚接触者と認定され自宅待機等になっている。

※チームで陽性者が確認された場合、抗原検査等で陰性が確認できた部員については、健康観察を徹底のうえ、参加を認める。

※部員の学級が学級閉鎖になっている場合も、抗原検査等で陰性が確認できれば、健康観察を徹底のうえ、参加を認める。

4. 大会中の具体的な感染防止対策について

- (1) 密閉空間を避けるため、定期的に換気を行うこと。
- (2) 更衣室の利用は短時間とし、密集を避けること。また、使用後は各チームで消毒を行うこと。
- (3) 体育館入場の際は、マスクを着用し、手指消毒をこまめに行うこと。
- (4) 選手は試合出場時以外は、マスクを着用すること。
- (5) フロアへは、前の試合のチームが退場し、ベンチの消毒が終わってから入場すること。
- (6) 試合が終われば、フロアから速やかに退場し、手洗いと手指消毒をすること。
- (7) 毎試合後、タイマー・ベンチの消毒をすること。(ボールは劣化が激しいので消毒しない。)
※各チームは、自チームが使用したベンチの消毒をすること。
- (8) 密接場面を避けるため、握手やハイタッチ等をしないこと。
- (9) 水分補給のための飲料は、各自で用意し、回し飲みはしないこと。
- (10) 各チーム、個人で出たゴミは必ず持ち帰ること。決して会場のゴミ箱等に捨てないこと。

5. 試合時間、アップについて

- (1) 試合開始時間は、定刻とするが、遅れた場合は、前の試合のチームが退場し、消毒終了後、アップの準備ができてから10分後とする。
- (2) 次の試合のチームのハーフタイムのコートでのアップは、全員がマスクを着用してエントリーメンバーのみであれば認める。その際、声を出すことは禁止とする。

6. 棄権チームが出た場合の対応について

- (1) やむを得ず棄権しなければならなくなった場合は、専門委員長に連絡をすること。
※対戦相手、レフリー、オフィシャル等に連絡をする必要があるため、早急に連絡すること。
※棄権した場合も、基本的にはオフィシャルをお願いするようになる。
- (2) 決勝リーグ戦で棄権チームが出た場合の対応については以下の通りとする。
 1. 「勝ち」チームには勝ち点2、棄権チームは「負け」と同様に勝ち点1、スコアは20対0とする。
 2. 両チーム棄権となった試合は、両チームに勝ち点1、スコアは0対0とする。
 3. 順位決定は、上記の結果に基づき、要項に記載されている通りを行う。

7. 大会後に参加者の中から感染者等が判明した場合について

- (1) 各学校や行政機関の指示に従い、香川県バスケットボール協会に報告すること。県教育委員会と協議の上、その後の大会運営に支障があると判断した場合は大会を中止することがある。
- (2) 大会が中止となった場合、四国大会の出場校選出に関しては、主催者で検討する。